

北半球と南半球をつなぐ懸け橋 白石市・ハーストビル市姉妹都市締結10周年

平成6年10月、白石市とオーストラリア・ハーストビル市が姉妹都市の盟約を締結して、今年で10周年を迎えます。



体験入学先の中学生たちと仲良く登校する、白石市を訪問中のハーストビル市の中学生（6月30日）

友好と真の国際理解を目指して

平成5年当時、市では市制施行40周年を機に、海外との姉妹都市交流の締結を目指していました。

平成4年に貿易や文化の交流拡大を目指して仙台市にオーストラリア領事館ができ、当時仙台空港からオーストラリアへの定期便就航の気運が高まっていたことから、市では、オーストラリアの都市との交流を模索。領事館や日豪文化交流協会などを通じて提携先を探し、平成5年11月に白石市長・市議会議長などが初めてハーストビル市を訪問。青少年を主体とした交流を提案しました。



ハーストビル市との姉妹都市盟約調印式（平成6年10月23日、白石市制施行40周年記念式典）

や議員などの市幹部と姉妹都市提携に向けて話し合い、白石市が提案していた青少年の交流事業を始めることなどが合意されました。

青少年主体に交流がスタート

この年の8月には、民間交流の第1号として市内の中学生8人をハーストビル市に派遣。続いてハーストビル市からも中学生6人がグリーンリープス訪問団として白石市を訪れ、さらに国際親善水泳大会も初めて開催されて、ハーストビル市から中学生5人が出場しました。

平成6年10月、両市で姉妹都市盟約を締結

そして、平成6年10月6日、ハーストビル市役所で姉妹都市締結調印式が行われました。式典に合わせて渡航した白石市友好の翼参加者、両市の議員団など関係者が見守る中、川井市長とマクドナルド・ハーストビル市長（当時）が白石和紙でできた調印書に署名。固い握手で友好を誓い合いました。

10月23日には、白石市側での調印式が市制施行40周年記念式典の中で開催されました。以来、毎年のように両市の中学生たちの相互訪問や国際親善水泳大会が実施され、市民訪問団も交互に両市を訪問するなど、両市は青少年を中心にさまざまな交流を市民レベルで活発に行っています。

市民の国際交流を支援
白石市国際交流協会

ハーストビル市との交流は、白石市国際交流協会が主体となって進められています。

市国際交流協会は、平成6年7月、諸外国との産業経済、教育文化、スポーツなど各分野での国際交流を民間サイドから支援するために、市民有志で設立されました。

市国際交流協会の
● 巨理昭太郎会長から

国際理解と友好親善に寄与するために設立された当協会も、今年で設立10周年を迎えます。

これまで多くの市民の皆さんのご理解と協力をいただき、ハーストビル市との交流をはじめ、東京語講座や国際料理講習など、さまざまな事業を実施してきました。姉妹都市交流をきっかけに、海外留学や外国語大学へ進学した方、ハーストビル市民と文通を続けている方もおられるなど、市民レベルでの国際化が着実に進展しつつあります。

今年、姉妹都市締結10周年を記念して、「友好の翼」オーストラリア親善訪問を11月に実施します。多くの市民のご参加をお待ちしています。今後、国際的視野の拡大と理解が深まるように努めますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

シドニー近郊の緑に囲まれた美しいまち ハーストビル

オーストラリア最大の都市シドニーから約16kmに位置するハーストビル市。1988年に市となった新しい都市で、人口は7万人。豊かな緑にレンガ造りの建物が建ち並び清潔で美しいまちです。環境保全にも力を入れていて、市内には面積42.5haを誇る自然公園「オタレーパーク」があります。平成7年にはプールやサウナ、エアロビクス施設などを備えた「アクアティックレジャーセンター」もオープンしています。



ハーストビル市庁舎



緑に囲まれたハーストビル市街

治安がよい国として定評のあるオーストラリアは、人種差別もなく、どんな国の人とも親しめる心の広さを持っています。オーストラリアの都市と姉妹都市提携を結んでいるのは、全国で現在98市ですが、宮城県では白石市だけです。

